



5月2日、鳥羽市移住コーディネーターにプルックサラナン真千代さんが就任しました。

鳥羽市移住コーディネーターとは、移住希望者に対して移住の情報提供や相談などの支援を行う制度です。

真千代さんには、海外から鳥羽へ移住した経験や移住者ならではの視点から鳥羽暮らしの魅力を発信していただきます。また移住者同士のコミュニティを作るなど、移住希望者はもちろん移住されたかたへのきめ細やかな支援に努めていただきます。

鳥羽市移住コーディネーター就任式



5月21日、三重県と株式会社ポケモンが「ポケモンローカル Acts」の取り組みの一環として、ミジュマルのデザインでラッピングした路線バス2台の運行を鳥羽市内で開始しました。

大型バスには鳥羽のさまざまな名所や景観をテーマに青を基調としたさわやかなデザインに、小型バスには古くから海女文化が息づくまちをイメージし、水の中でミジュマルが遊んでいるような様子をイメージしたデザインになっています。

鳥羽マリンターミナルで開催されたお披露目式で、中村市長は「ゴールデンウィークもミジュマルトレインが賑わったことから、ミジュマルバスの活躍にも期待している」と話しました。

ミジュマルバスが運行を開始！



4月27日、加茂小学校の6年生が行政と自分たちの生活のつながりを学び、理解し、よりよい暮らしをするための課題を見つけるための社会見学として市役所を訪れました。

庁舎内の各課を見学し、職員への質疑応答を行ったほか、議場や市長室も見学し、市長へ「市長の仕事でたいへんなことはなんですか?」「市役所はどんな仕事をしていますか?」などといったインタビューを行いました。

加茂小学校の6年生が市役所見学



5月2日、地域おこし協力隊に渡邊瞬さんが就任しました。渡邊さんは、農業振興担当としてJA伊勢と協力・連携しながら、新しい農作物の育成や販路拡大のサポート、農作物の魅力発信や地域の農業者支援に取り組みます。

あいさつの中で渡邊さんは「農作物の魅力発信や地域の農業者支援などいろいろな人とつながって、農作物の商品化などに向けて活動していきたい」と話してくれました。

農業振興担当の地域おこし協力隊が就任！